

平成二十八年年度 善行川柳年間大賞



選者 東 逸平

【会長賞】

○広島の折鶴 羽ばたけ 世の平和
北海道 齊藤 勉

【優秀賞】

○被災地に 心だけでも ボランティア
静岡県 真野 和代

○ちょっとだけ したことなのに ありがとう
香川県 丸野 忠義

【総評】

いつもながら紙上に掲載される作品は、どれを取っても素晴らしい。時事的なものも、得難い作品が多くありましたが、善行川柳は基本的には、題詠とされていて、善行という言葉が題名として読むものです。しかし、それでは初心者には限定されてしまった作句が難しいとの判断から、雑詠として題詠をことばにしなくても、善行につながる作品であれば良しとして、時事的なものにも広げてきました。内容に善行を謳って良しな作品は、どれか。

○会長賞の作品は、善行の究極にあるもの、平和を時事的にも見事にまとめました。素晴らしい作品です。

○優秀賞は、誰の心にも響く痛切な祈りと願いを、一刻も惜しんで駆けつけた気持ちは、動くに動けない老いの足を労って詠み上げました。心だけでも光っています。

○もう一つの優秀賞は、月評でも述べましたが、善行の心を分かりやすく詠んでいます。いづれにしても川柳は人の心です。心を川柳の型紙に当てはめるだけでは、いづれも、つばやきを見事に世界観に引き上げて、創られました。天晴れ！を差し上げます。次年度もこの調子で行きましょう。

ふる里自慢

群馬県高崎支部

郷土芸能獅子舞

ピーと笛の合図に左手に升、右手に軍配を持つた小さな大黒様が大きな声で「オニオオニヤ福は内」と豆をまいて始まるのは伝統芸能獅子舞の一場面です。高崎市は合併により、伝説芸能一人立三頭獅子舞の数は三十九団体となりその数で関東一となりました。



高崎の獅子舞は荷流が多い。阿久津の獅子舞は、那須の獅子舞(甘楽郡甘楽町秋畑)と共に稲荷流三宗家の一つと言われています。石原町清水の獅子舞保存会に伝わるいくつかを紹介すれば、道拍子が七曲・神社などに入る時其処に張られた綱を切つて入る一切の舞。大きな幣束をもつて踊り場を清める「大幣の舞」、神社に奉納する「神楽の舞」、その他、女獅子隠し・三つ上・弓の舞・志ん切・剣の舞などがあります。獅子舞にはいくつもの寝言葉があります。「花つ三拍子づくし」、「山づくし」、「山づくし」、舞台や、神社の奉納の折、舞が佳境に入るころ、客席より暫く、暫く、しん暫その場にしゃがみこむ

支部だより

大分県大分支部

春の全国交通安全運動へ参加

平成二十九年四月六日から十五日までの十日間、官民一体の行事として「春の全国交通安全運動」が展開されました。日本善行会大分支部では四月七日十四時から街頭活動を実施しました。通り道の多い場所と言え大分市の中心部にある駅前通りです。商店街前のスクランブル交差点が集合の場所です。この運動では会員の(松井萌さん提供)のミニ傘が力を発揮してくれました。



新会員名簿(敬称略)

- (北見地区支部) 高橋利則、小池唯夫、瀬野智子、中村嘉孝、岩崎貴、武田一義、角谷収、末久忠則、北見木工協同組合理事長中橋孝幸(北海道釧根支部)、品田忠、吉田守人、高橋利一、松井啓市(岩手県宮古支部)、アト工業株式会社、大阪建設株式会社、株式会社海幸園、株式会社菊地建設、株式会社佐々木建設、沢与建設株式会社、三陸生コン株式会社、株式会社田岡商店、東海電業株式会社、陸中建設株式会社(仙台支部)、上田進、齋藤良子、佐々木時男、鈴木忠雄、高橋健一、島山恭、本間昭雄、三浦征子、三浦又英、米木正二、伊藤信行
- 太田哲郎、吉田恵、山岸博雅、早坂家一、鎌田稔、石川禎子(宇都宮支部)、角田充由、佐久間昌平(埼玉支部)、相原伸司(千葉支部)、中村俊人(台東支部)、第一勧業信用組合東浅草支店(大田支部)、加藤公子、坂井悦子(世田谷支部)、新館豊(渋谷区支部)、石井卓男、柳原英一郎、永山充、村川益清、甘中裕樹(板橋支部)、瓜生一仁、小泉輝人、後藤昭雄、清水淑子、松坂美帆、松村良子、金澤陽貴(練馬支部)、久保田広近、鈴木恭一郎、高山佐内治(葛飾支部)、黒沢富子、二瓶晃一、石橋行夫、小林隆猛(小平支部)、中村正男、大竹廣昭、宮崎京子(調布市) 調布

善行川柳

選者 東 逸平

○雪解けて 解せぬニュースや 又今日も
北海道 齊藤 勉

評/正直、人生の達人にとっては訳の分からないニュースばかりですな。なんとか人間愛に満ちたニュースはないのでしょうか。

《雪解けて》の《で》の濁りはいけません。《又今日も》の《又》は漢字ではなく《また今日も》とする方が良いですね。

《雪解けて》に 降って沸くニュース また今日も》では。

○北国の 雪降る海の 牡蠣うまい
静岡県 真野 和代

評/ううん、いいんだけど、もう少し善行川柳流に捻りましょうよ。

《避難者に 届けたい牡蠣の 旨さかな》

○何よりも 笑顔一番 妻の顔
香川県 丸野 忠義

評/もう一つ、良いのがありましたよ。

《老夫婦 じゃんけんぼんぼん》
選者なども、最近妻の顔が恐く見えてビクビクする日があります。やっぱ妻の笑顔が一番ですね。

かく有りた、老夫婦の日常は、そうじゃんけんぼん！
勝つても負けても笑い顔・笑い顔

池奥孝行、三木亮治、大森雅夫(香川県支部)尾崎繁子、久利和子(愛媛県支部)脇博義、石川祐子、高田速雄、鈴木宣幸(福岡県福岡支部)秋本純子、山内裕文(福岡県筑後支部)浦博宣、浦善信、遠藤博昭、岡本雅子、河野竹美、善英隆、徳永清美、橋爪房義、原勝明、山田良治(佐賀県唐津支部)吉原豊彦(熊本県宇土支部)芥川雄二、宇佐川照孝、甲斐逸郎、紫垣陸夫、田代咏子、富永セイ子、萩原マサエ、福島恵子(大分県大分支部)伊賀上憲子、高山福代、和田正子、大塚史郎、竹内悦子、芦原寿満子、廣田智信、田中満紀子、工藤桂子、甲斐直登、佐藤美智江、日名子勝徳(平成28年7月〜平成28年12月末日迄人会者)